

十六銀、シェア34%で首位

東京商工リサーチがまとめた調査によると、県内に本社を置く2万2662社のメインバンクは、十六銀行がシェア34.3%でトップだった。大垣共立銀行が20.1%で2位、岐阜信用金庫が13.5%で3位だった。上位三つの金融機関で県内シェア67.9%を占めた。

4位は東濃信用金庫の7.0%、5位は大垣西濃信用金庫の5.8%。三菱東京UFJ銀行(BTMU)が2.7%で7位になった以外は上位10位に他県の地銀、信金

県内企業メインバンク

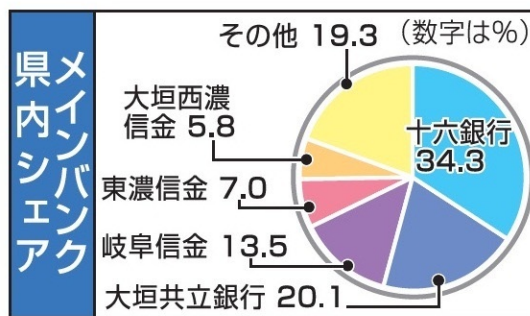
は入っておらず、地元金融機関の地域密着の営業活動が効果を上げているとみられる。

一方、岐阜、愛知、三重、

東京商工
リサーチ調査

静岡、長野県の中中部5県では、BTMUがシェア11.3%でトップ。県内金融機関は十六が5.7%で4位、大垣共立が4.2%で7位、岐阜信用金庫が2.3%で10位だった。

2位 大垣共立銀20% 3位 岐阜信金13%



調査は東京商工リサーチの企業データベースから2013～17年の3月末のメインバンクを集計し、メインバンクが複数の場合は最上位行をメインバンクにした。